



山形県感染症発生動向調査

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
 2016年7月12日 発行

平成28年第27週(7月4日~7月10日)

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※ :警報レベル

 :注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第26週	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	161 0.03	1 0.02		▼	1 0.05		▼										13928
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	368 0.12																45
咽頭結膜熱	2177 0.69	36 1.20	37 1.23	▲	22 1.69	16 1.23	▼	4 1.33	3 1.00	▼	8 1.33	14 2.33	▲	2 0.25	4 0.50	△	525
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8478 2.68	146 4.87	154 5.13	▲	100 7.69	120 9.23	▲	3 1.00	1 0.33	▼	32 5.33	24 4.00	▼	11 1.38	9 1.13	▼	4611
感染性胃腸炎	15733 4.98	131 4.37	110 3.67	▼	67 5.15	50 3.85	▼	9 3.00	3 1.00	▼	37 6.17	31 5.17	▼	18 2.25	26 3.25	△	5881
水痘	1407 0.45	9 0.30	13 0.43	△	2 0.15	5 0.38	△		2 0.67	△	2 0.33	1 0.17	▼	5 0.63	5 0.63		310
手足口病	1503 0.48	2 0.07	2 0.07			2 0.15	△							2 0.25		▽	31
伝染性紅斑	1311 0.41	25 0.83	26 0.87	△	14 1.08	10 0.77	▼	2 0.67	3 1.00	△	2 0.33	6 1.00	△	7 0.88	7 0.88		1366
突発性発しん	1905 0.6	19 0.63	16 0.53	▼	7 0.54	2 0.15	▼		1 0.33	△	8 1.33	6 1.00	▼	4 0.50	7 0.88	△	516
百日咳	72 0.02	1 0.03	1 0.03								1 0.17		▼		1 0.13	△	11
ヘルパンギーナ	7139 2.26	4 0.13	13 0.43	▲	1 0.08	2 0.15	△	1 0.33		▼	1 0.17	11 1.83	△	1 0.13		▽	31
流行性耳下腺炎	3357 1.06	59 1.97	72 2.40	△	7 0.54	13 1.00	▲	7 2.33	7 2.33		42 7.00	51 8.50	▲	3 0.38	1 0.13	▼	1781
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	14 0.02																
流行性角結膜炎	520 0.75																30
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	34 0.07		4 0.40	△		4 1.00	△										14
クラミジア肺炎	7 0.01																4
マイコプラズマ肺炎	301 0.64	4 0.40	2 0.20	▼	2 0.50	2 0.50								2 0.67		▽	58
細菌性髄膜炎	8 0.02																2
無菌性髄膜炎	27 0.06		1 0.10	△											1 0.33	△	5

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者			1	1	
腸管出血性大腸菌感染症	患者			1		型別:O157 VT2
つつが虫病	患者				1	
アメーバ赤痢	患者	1				
侵襲性肺炎球菌感染症	患者				1	※第13週追加報告分。肺炎球菌ワクチン接種歴不明。
梅毒	無症状病原体保有者				1	

<通信欄>

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ															
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79	80歳～									合計
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症															
咽頭結膜熱		2	3	18	3	4	2	2		3					37
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			3	11	13	13	13	19	14	24	10	10	20		4
感染性胃腸炎			16	23	13	9	8	5	7	8	3	3	12	2	1
水痘			2	1	2	1	3	1		1	2				13
手足口病				2											2
伝染性紅斑				2	2	1	4	4	3	2	1	5	2		26
突発性発しん			4	11	1										16
百日咳															1
ヘルパンギーナ				5	6	2									13
流行性耳下腺炎			1	4	2	16	9	19	9	7	2	2		1	72

<平成28年6月 月報>

2016年7月12日 作成

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～6月
	5月	6月	5月	6月	5月	6月	5月	6月	5月	6月	
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 24	17	5	7	14	5	3	3	2	2	114
	定点当り 2.40	1.70	1.25	1.75	14.00	5.00	1.50	1.50	0.67	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 9	5	3	2	2	1	2	2	2		35
	定点当り 0.90	0.50	0.75	0.50	2.00	1.00	1.00	1.00	0.67		
尖圭コンジローマ	報告数 3	3	3	3							18
	定点当り 0.30	0.30	0.75	0.75							
淋菌感染症	報告数 5	2	1				2		2	2	11
	定点当り 0.50	0.20	0.25				1.00		0.67	0.67	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 4	3					1		3	3	36
	定点当り 0.40	0.30					0.50		1.00	1.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 16	16	5	9	1	2	3	3	7	2	110
	定点当り 1.60	1.60	1.25	2.25	1.00	2.00	1.50	1.50	2.33	0.67	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数										
	定点当り										

<トピックス>

【腸管出血性大腸菌感染症情報】

腸管出血性大腸菌感染症の患者が、第27週に報告されています。

例年夏季に多く発生しますので、今後注意が必要です。

感染者の内訳 (平成28年第1週からの合計)

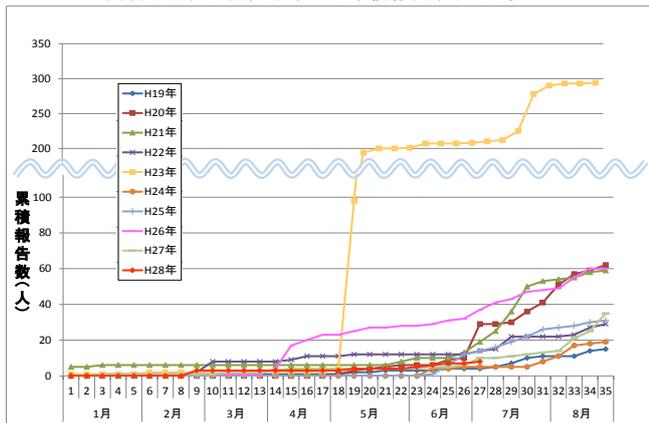
①地区別

村山地区	: 3名
最上地区	: 3名
置賜地区	: 1名
庄内地区	: 1名
計	8名

②型別

O血清型	ベロ毒素型	報告数
O26	VT1	1
O91	VT1	1
O157	VT2	2
	VT1VT2	3
OUT	VT1	1
合計		8

腸管出血性大腸菌感染症の累積報告数(山形県)



※H23年は、5月に大規模な食中毒事件が発生したため報告件数が増加した。

【つつが虫病情報】

つつが虫の患者が、第27週に報告されています。

つつが虫は、病原体を有するツツガムシの幼虫に刺されて感染します。

春から初夏にかけて多く、また秋にも発生がみられますので

注意が必要です。

【症状】

発熱(38～40℃)、発疹、ツツガムシ幼虫の刺し口が見られることが特徴です。

これらの症状は、ツツガムシ幼虫に刺されてから5～14日後にみられます。

【予防法】

ツツガムシは、田畑、山林、やぶ、河川敷、草原などに生息しています。

これらの場所に立ち入るときは、次のようなことを心がけることが大切です。

- ①長袖、長ズボン、長靴、手袋などを着用し、素肌をできるだけ露出しない。
- ②ダニ忌避剤、防虫剤を衣服に散布する。
- ③なるべく草むらに直接座らない。
- ④帰宅したら早めに入浴し、ツツガムシ幼虫を洗い流す。

【山形県の年間報告数 ※2016年第27週現在の状況】

